

2023年10月の天候

令和5年11月2日
盛岡地方气象台

この資料内のデータは速報値です。
後日、内容の訂正・追加を行うことがあります。

《 特 徴 》

【高温】【日照時間が多い】

1 天候経過

〈天候の特徴〉

高気圧と低気圧や前線が交互に通過し、天気は周期的に変わった。

岩手山の初冠雪を17日に観測した。平年より4日遅く、昨年より11日遅い。

月平均気温は、県内は平年より高いが、内陸では平年並の所もあった。月降水量は、県内は平年並から平年より少なかった。月間日照時間は、県内は平年より多いからかなり多かった。

上旬： 高気圧と低気圧や前線が交互に通過し天気は周期的に変わった。10日は、三陸沖を北上した低気圧の影響で、沿岸を中心にやや強い雨が降った。

旬平均気温は、沿岸は平年より高く、内陸では平年並から平年より高かった。旬降水量は、県内は平年並で、内陸では平年より多い所もあった。旬間日照時間は、県内は平年並で、北部では平年より多い所もあった。

中旬： 高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、15日と20日は、低気圧や前線の影響で雨となった。

旬平均気温は、県内は平年より高く、内陸では平年並の所もあった。旬降水量は、県内は平年並だった。旬間日照時間は、県内は平年並から平年より多く、南部では平年よりかなり多い所もあった。

下旬： 高気圧に覆われて晴れる日もあったが、気圧の谷の影響で曇りの日が多く、28日から29日は三陸沖の低気圧の影響で沿岸北部を中心に雨となった。

旬平均気温は、県内は平年並で、沿岸では平年より高い所があった。旬降水量は、県内は平年より少ないからかなり少なく、北部では平年並や平年より多い所があった。旬間日照時間は、県内は平年より多いからかなり多かった。

○盛岡、宮古、大船渡の旬及び月統計値

地点\要素	平均気温	平年差	階級区分	降水量	平年比	階級区分	日照時間	平年比	階級区分	
盛岡	上旬	15.6	0.7	高い	43.5	99	平年並	48.7	112	平年並
	中旬	13.6	0.9	高い	13.5	43	平年並	59.4	121	多い
	下旬	11.2	0.6	高い	14.0	42	少ない	69.9	143	かなり多い
	月	13.4	0.8	高い	71.0	65	少ない	178.0	126	かなり多い
宮古	上旬	16.3	0.7	高い	69.0	101	平年並	47.9	107	平年並
	中旬	14.8	1.1	高い	16.5	31	平年並	67.3	130	多い
	下旬	12.3	0.5	高い	76.5	169	多い	63.5	120	多い
	月	14.4	0.8	高い	162.0	98	平年並	178.7	119	多い
大船渡	上旬	17.1	0.7	高い	68.5	111	多い	47.0	115	平年並
	中旬	15.7	1.3	高い	22.0	49	平年並	69.3	153	かなり多い
	下旬	13.2	0.6	高い	2.5	5	かなり少ない	58.3	115	多い
	月	15.3	0.9	高い	93.0	58	少ない	174.6	128	かなり多い

<単位 気温:℃ 降水量:mm 日照時間:h 平年差(比):℃(%)> 平年値:1991~2020年の平均値

2 日別の気圧配置

- 1日：サハリン付近の低気圧からのびる前線が、北日本を通過する。また、日本の東の低気圧から前線が本州南岸へのびる。
- 2日：北日本は気圧の谷となる。一方、高気圧が黄海にあって、本州付近に張り出す。
- 3日：東北地方は移動性高気圧に覆われる。
- 4日：高気圧が日本の東に移動する。一方、日本海は気圧の谷となる。
- 5日：日本海北部の低気圧からのびる前線が、北日本を通過する。
- 6日：北日本は西高東低の気圧配置となる。
- 7日：引き続き、北日本は西高東低の気圧配置となる。
- 8日：北日本は移動性高気圧に覆われる。
- 9日：高気圧が日本の東に移動する。一方、前線を伴う低気圧が本州の南を北東へ進む。
- 10日：前線を伴う低気圧が三陸沖を北東へ進む。
- 11日：中国東北区の高気圧が本州付近に張り出す。
- 12日：本州付近は高気圧に覆われる。
- 13日：引き続き、本州付近は高気圧に覆われる。一方、北海道付近は気圧の谷となる。
- 14日：引き続き、本州付近は高気圧に覆われる。
- 15日：前線を伴う低気圧が発達しながら三陸沖を北上する。また、別の低気圧が日本海を東へ進む。
- 16日：発達した低気圧が日本の東にあって、北東へ進む。
- 17日：日本付近は、西高東低の気圧配置となる。
- 18日：日本付近は、高気圧に覆われる。
- 19日：前線が、サハリン付近の低気圧から北海道を通過して日本海へのびる。
- 20日：津軽海峡付近を北東へ進む低気圧からのびる前線が日本を通過する。
- 21日：日本付近は、西高東低の気圧配置となる。
- 22日：北日本は気圧の谷となる。
- 23日：北日本を気圧の谷が通過し、本州付近は高気圧に覆われる。
- 24日：引き続き、本州付近は高気圧に覆われる。
- 25日：低気圧が日本の東を北東へ進む。北日本は気圧の谷となる。
- 26日：低気圧が日本の東を北東へ進む。引き続き、北日本は気圧の谷となる。
- 27日：オホーツク海の低気圧からのびる寒冷前線が北日本を通過する。
- 28日：北日本は気圧の谷となる。
- 29日：低気圧が三陸沖を南東へ進む。また、東北地方は気圧の谷となる。
- 30日：低気圧が日本の東を東進する。一方、日本海に高気圧があって東に移動する。
- 31日：日本付近は、移動性高気圧に覆われる。

3 極値・順位の更新

○気象官署及び特別地域気象観測所(10月として5位まで記載)

要素名	単位	地点名	順位	値	起日	統計開始
月平均気温の高い方から	℃	大船渡	5	15.3	2023年10月	1963年

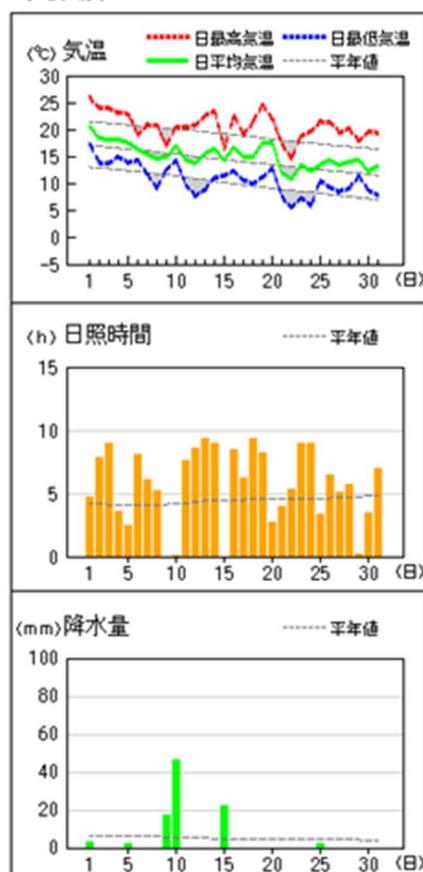
○アメダス(10月として1位更新：統計期間10年以上の要素を記載)

要素名	単位	地点名	順位	値	起日	統計開始
日最大10分間降水量	mm	軽米	1	7.5	2023年10月1日	2008年
	mm	二戸	1	8.0	2023年10月1日	2008年
月降水量の少ない方から	mm	花巻	1	60.0	2023年10月	1976年
	mm	附馬牛	1	77.0	2023年10月	2005年
日最大風速・風向	m/s	大迫	1	9.9(西)	2023年10月17日	1977年

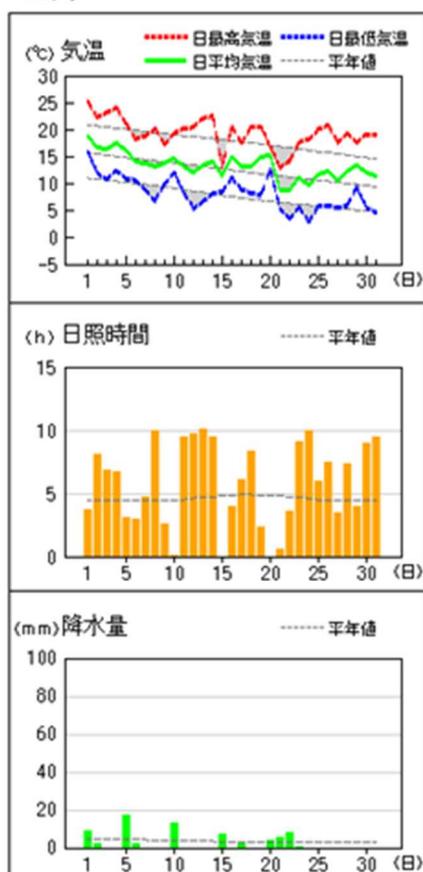
4 気象経過図

アメダス 気象経過図：2023年10月01日-2023年10月31日

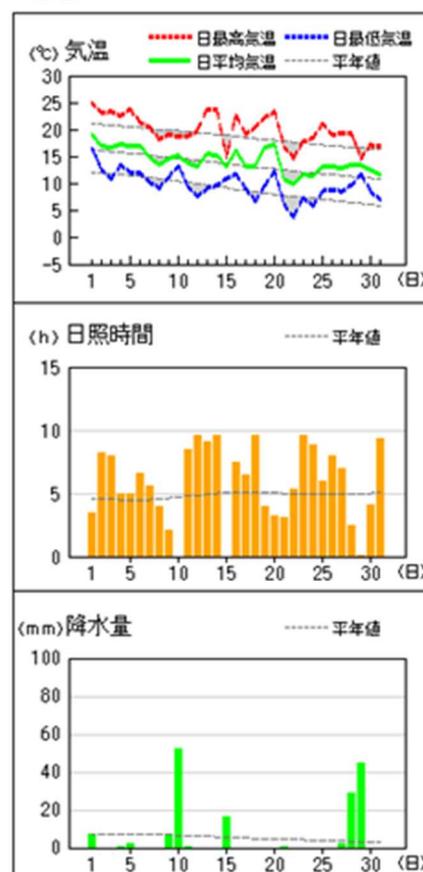
大船渡



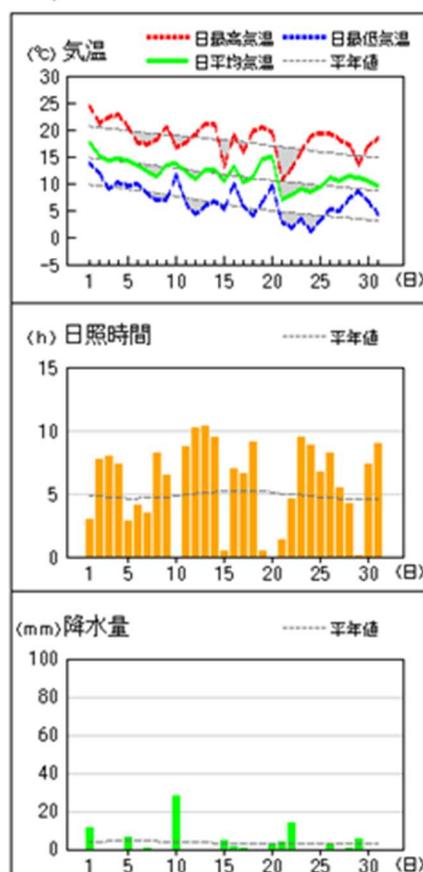
盛岡



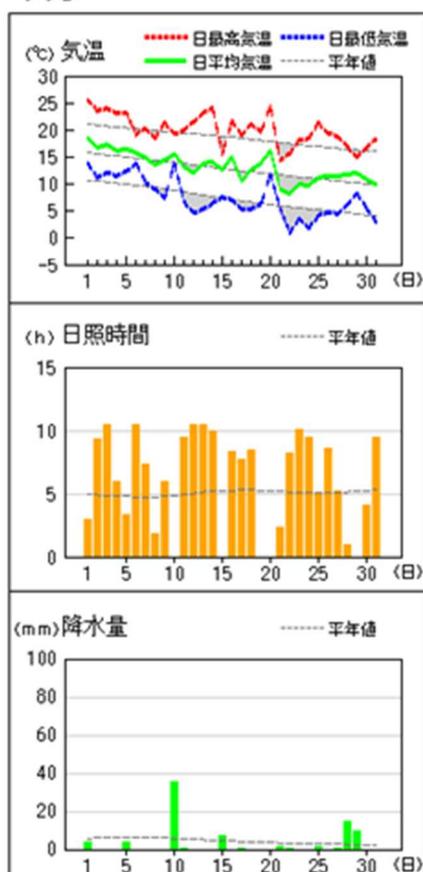
宮古



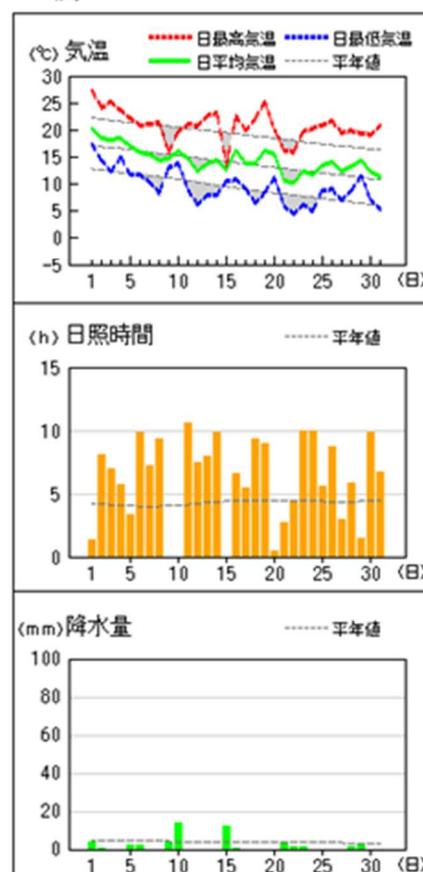
二戸



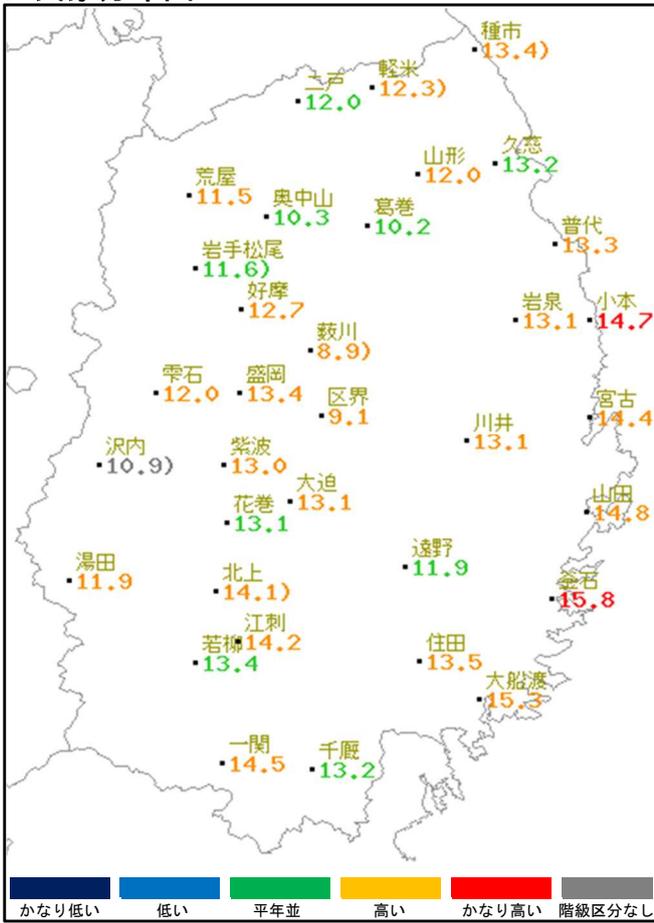
久慈



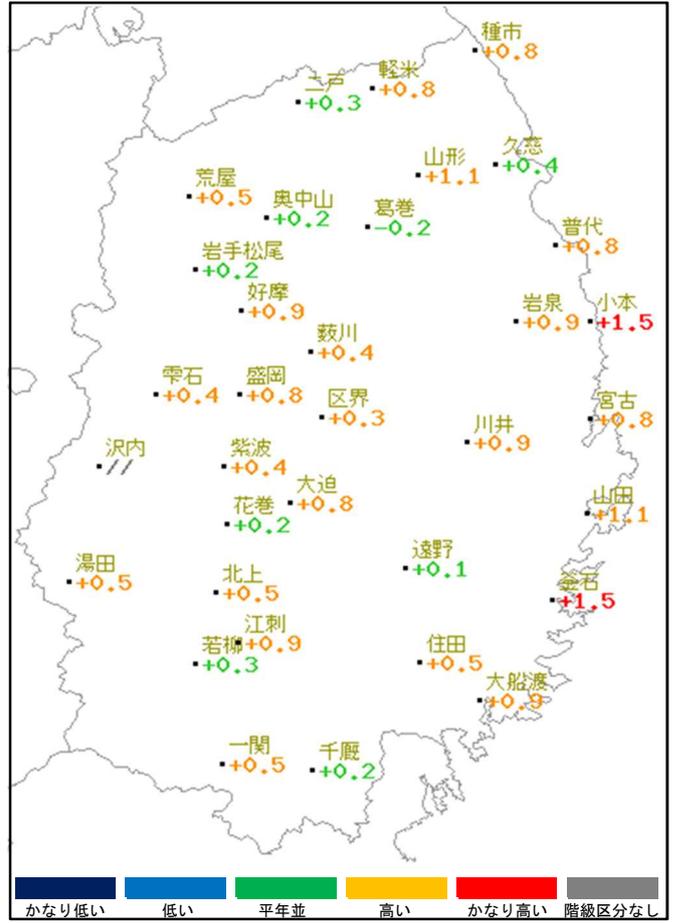
一関



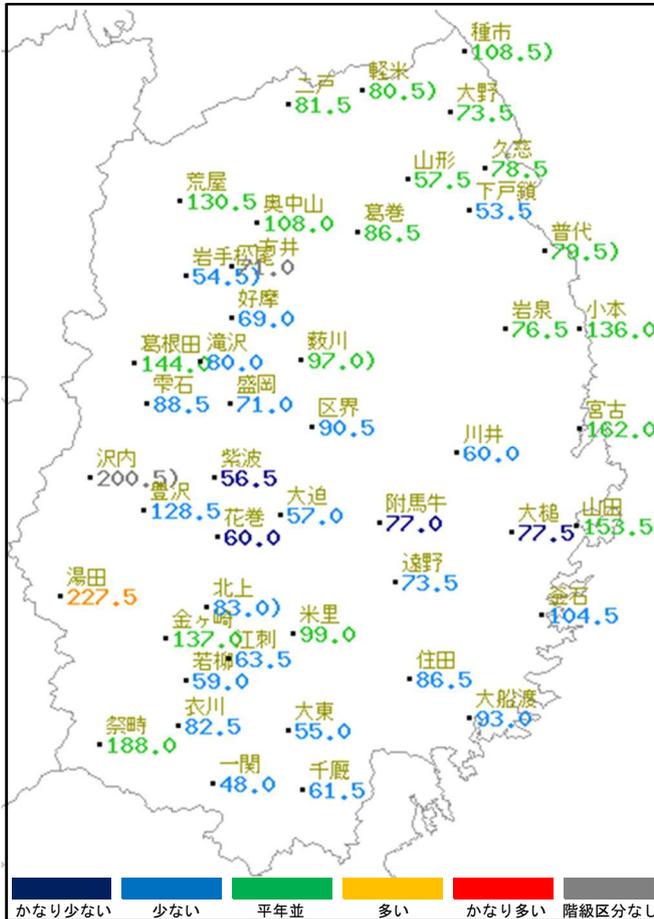
5 気象分布図



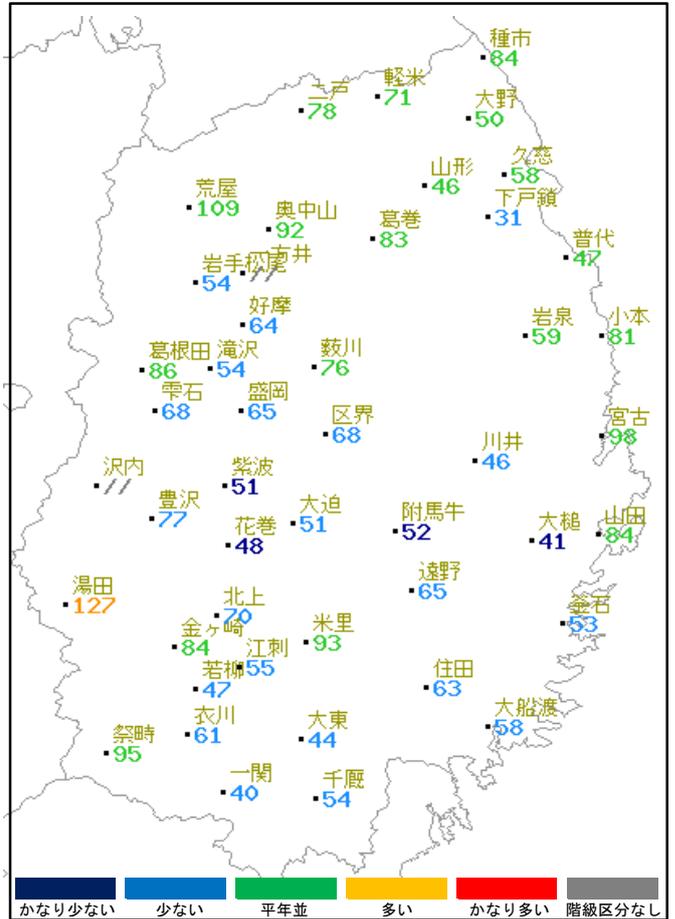
月平均気温実況値(°C)



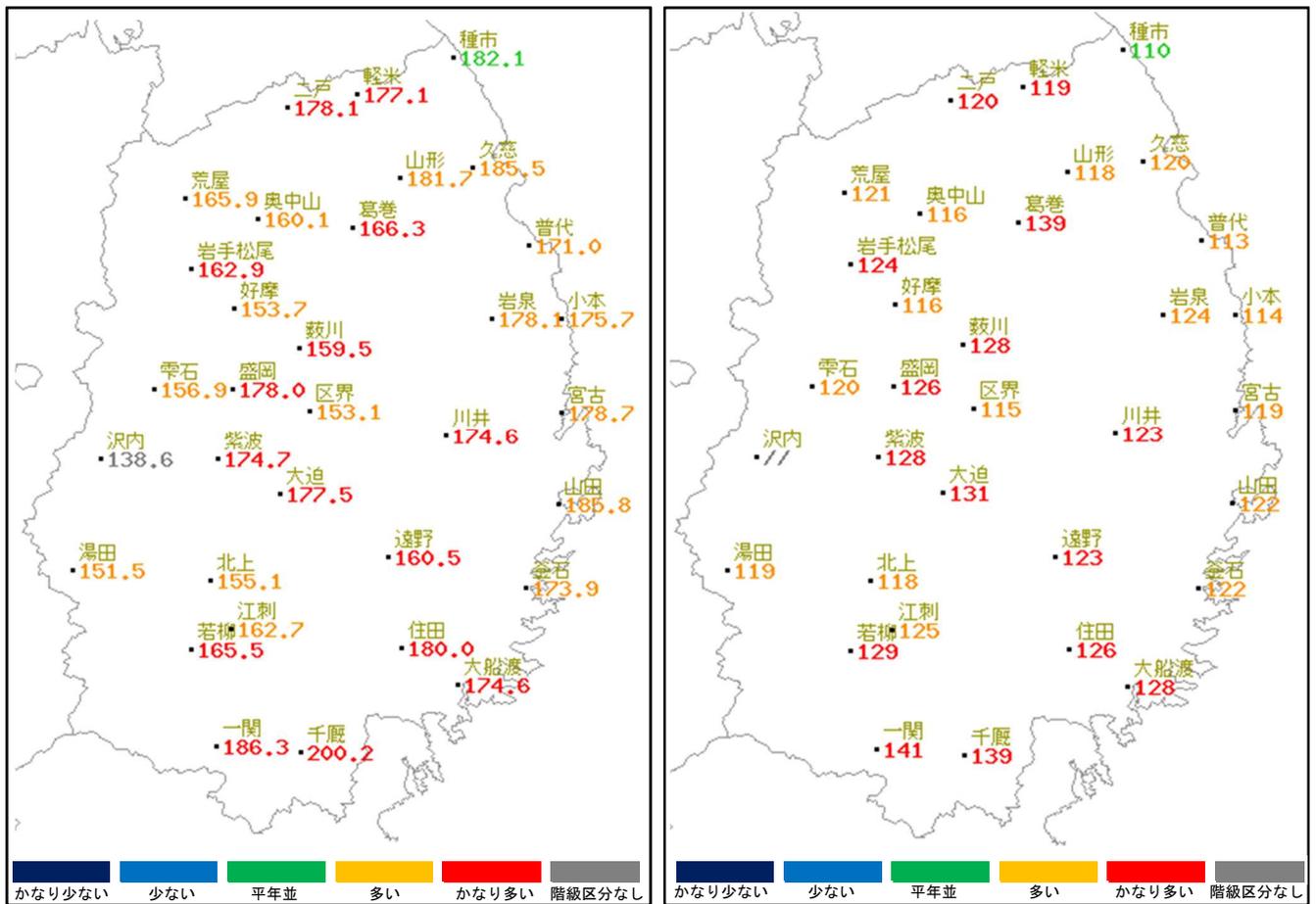
月平均気温平年差(°C)



月降水量実況値(mm)



月降水量平年比(%)



月間日照時間実況値 (h)

月間日照時間平年比 (%)

記号の意味) : 準正常値] : 資料不足値 × : 資料なし // : 平年値なし
 平年値 : 1991~2020年の平均値 (花巻は2003~2020年)

6 その他

○2023年の台風の発生数 (2023年11月1日現在)

年 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
2023				1	1	1	3	6	2	2			16
2022				2		2	2	5	7	5	1	1	25
平年値	0.3	0.3	0.3	0.6	1.0	1.7	3.7	5.7	5.0	3.4	2.2	1.0	25.1

各種観測値、統計値や平年値及び季節予報は気象庁ホームページに掲載しています。

【気象資料】 <https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>

【気象データのダウンロード(CSV)】 <https://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/obsdl/index.php>

【季節予報】

https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area_type=offices&area_code=030000&term=1month

注意事項

2021年3月2日より、盛岡・宮古・大船渡を除く地点の日照計による日照時間の観測を終了し、「推計気象分布(日照時間)」による推計値を日照時間データとしています。これに伴い、平年値も推計値によるものに補正しています。

本資料に掲載されている観測値は断り書きがない限り、盛岡は気象官署、宮古・大船渡は特別地域気象観測所、その他の観測所は地域気象観測所の観測値を使用しています。

なお、本資料の著作権は盛岡地方気象台が有しています。掲載されているデータや図表を利用する場合は「盛岡地方気象台の資料に拠った」旨記載して下さい。

また、営利を目的に増刷など行う場合は所定の手続きに拠るものとします。

(本資料に関する問い合わせ先)

盛岡地方気象台 電話019(622)7870